

平成30年度

施策評価表(平成29年度の実績評価)

記入年月日

平成 30 年 6 月 1 日

施策No.	政策名	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり	主管課	健康推進課	主管課長名	広瀬 智美
1-3	施策名	地域医療体制の充実	関係課	病院整備推進課、国保年金課		

1. 施策の目的と成果把握

施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
市民	①桜川市人口	人	見込値	41,278	41,008	40,738	40,467	40,197
			実績値	41,278				
			見込値					
			実績値					
施策の意図	成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
地域で相談ができる「かかりつけ医」などを持ち、必要時には専門医療を受けられる。	①地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合	%	目標値	43.0	48.0	49.0	50.0	51.0
			実績値	42.2				
	②かかりつけ医を持つ市民の割合	%	目標値	41.0	49.0	50.0	51.0	52.0
			実績値	48.0				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
		目標値						
		実績値						
成果指標設定の考え方	地域で相談ができる「かかりつけ医」などを持ち、必要時には専門医療を受けられるについての指標は、市民アンケート①地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合が増えること、②かかりつけ医を持つ市民の割合により求める。							
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合、②かかりつけ医を持つ市民の割合は、市民アンケートより求める。							

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)			
実績比較	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がすべて向上した	<input type="checkbox"/> 向上した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 低下した成果が多かった	<input type="checkbox"/> 成果がすべて低下した	
背景・要因	①地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合はH27年度41.2%、H28年度42.0%、H29年度42.2%と向上している。 ②かかりつけ医を持つ市民の割合はH28年度44.6%、H29年度48.0%で増加している。各健診時やイベント等での市民への啓蒙啓発の取り組み成果と思われる。		
2) 成果目標の達成状況			
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 目標値を上回ったものが多かった	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 目標値を下回ったものが多かった	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	①地域で適切な医療が受けられると思う市民の割合は、H29年度42.2%と目標値の43.0%にはわずかに届かない。 ②かかりつけ医を持つ市民の割合はH29年度48.0%で目標値の41.0%を7ポイント上回った。		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
休日当番医療については、市医師会の協力のもと72日間実施、また休日夜間の救急については筑西広域病院群輪番制により実施している。小児救急医療については筑波メディカルセンターへの受け入れを依頼しており、安心して医療が受けられる体制を図っている。 かかりつけ医を持つ市民については、SAKURAフェスティバルでチラシを配布したり、機会あることに普及啓発を図っており少しずつではあるが増加している。	市民からは市内の病院に産科・脳外科等の診療科目がなく心配との意見がある。市医師会の協力により休日当番医療を、また筑西広域病院群輪番制により、夜間救急体制を継続する。 市民に地域で相談できるかかりつけ医などを持つよう乳幼児健診や住民健診等でも普及啓発する。